

ケアを担う子どもたち

—ヤングケアラーへの支援—

澁谷智子
(成蹊大学文学部)
tomoko-shibuya@fh.seikei.ac.jp

ヤングケアラー (Young Carer) とは？

慢性的な病気や障がい、
精神的問題やアルコール・薬物依存などを
抱える家族の世話をしている
18歳未満の子どもや若者

ヤングケアラーがしていること



- 家事（掃除や料理、お皿洗いや洗濯など）
- 家のきりもり（買い物、家の中の修理仕事、重いものを持ち上げるなど）
- 金銭面・実用面のきりもり（請求書の処理、給付の受け取り、銀行でのお金の出し入れ、アルバイトで働く、通訳をするなど）
- 身の周りのケア（衣服の脱ぎ着の介助、入浴・トイレの介助、移動介助など）
- 感情面のケア（その人のそばにいる、その人を見守ったり連れ出したりする）
- きょうだいのケア（自分一人で、あるいは親と一緒に、きょうだいの世話をする）

ケアを担うことで ヤングケアラーが受けることのある影響

<プラスの影響>

年齢の割に生活能力を身につけている、聞き上手である、忍耐強い、
病気や障がいについての理解が深い、思いやりがある…

<マイナスの影響>

学校生活に集中できない

(遅刻、欠席、宿題が期限に間に合わない、忘れ物、勉強できない、
良い成績が取れない…)

友達づきあいや部活や趣味などに時間を使えない

感情的にも身体的にも疲れている

(身近にケアのことを話せる相手がほとんどいない、体調不良…)

自分の健康や進路は後回し

…



ヤングケアラーの数

- イギリスの2011年の国勢調査

イングランドに16万6363人のヤングケアラー(18歳未満)がいる

- 総務省が発表した「平成24年就業構造基本調査」

15～29歳の介護者 17万7600人

- 南魚沼市公立小中学校の全教職員へのアンケート調査(2015年に実施)

回答者の25.1%(271人中の68人)が、これまでに教員として関わった児童・生徒の中で、家族のケアをしているのではないかと感じた子どもがいると答えた。

ヤングケアラーを支援していく時の方向性

- ヤングケアラーが話し相手に会える安全な場所を提供する
(悩みを話し合ったり、楽しい時間を過ごすことのできる場所)
- 子どもや若者が家で担っているケアを減らす
子どもにとって、不適切なケア、過度なケアは何かという意識を持つ
- ヤングケアラーに関する社会の意識を高める

ハンプシャー州ウィンチェスター



- ロンドンから南に電車で一時間ぐらいのところにある街
- 1995年にハンプシャー州がヤングケアラー調査を実施
- 調査後、**ウィンチェスター・ヤングケアラー・プロジェクト**が3年間の補助金を受けて開始される
 - 1999年に独立
 - ウィンチェスター・ヤングケアラーズ**に



自分がしているケアの仕事

以下は、家族を手伝うためにヤングケアラーがしている、いくつかの作業です。この1か月にあなたがしたことを考えてみてください。それぞれの項目を読んで、あなたがこの1か月にそれらの仕事をどれぐらいやったかを示すために、当てはまるものに○をして下さい。よろしくお祈いします。

MACA-18	
まずこちらを記入して下さい	
名前のイニシャル	_____
生年月日	_____
今日の日付	_____
ヤングケアラー・サービスの名前	

	全く しなかった	時々した	よくした
1 自分の部屋を掃除する			
2 他の部屋を掃除する			
3 お皿を洗う、または食器洗い機に入れる			
4 部屋を飾りつける			
5 食べ物の買い出しの責任を持つ(つまり、買い物リストを考え、それを買う)			
6 重いものを持ち上げたり運んだりするのを手伝う			
7 家のお金に関すること、たとえば請求書を処理したり、銀行にお金を出し入れしたり、福祉手当などを受け取ったりするのを助ける			
8 家にお金を入れるためにアルバイトをする			
9 あなたがケアしている人のために、通訳をしたり、手話や他のコミュニケーション手段を使ったりする			
10 あなたがケアしている人の衣服の脱ぎ着を助ける			
11 あなたがケアしている人の洗面を助ける			
12 あなたがケアしている人の入浴やシャワーを助ける			
13 あなたがケアしている人につきあい、たとえばそばに座ったり本を読んだり話しかけたりする			
14 あなたがケアしている人が大丈夫か確認するために見守る			
15 あなたがケアをしている人を外に連れ出す(散歩や友達や親戚に会うためなど)			
16 きょうだいを学校に送っていく			
17 他の大人がそばにいる状態できょうだいの世話をする			
18 自分一人できょうだいの世話をする			

MACA-YC18の点数化

「まったくしない」= 0
 「時々した」= 1
 「よくした」= 2

ケア活動の合計点

MACA-YC18は、18項目すべてを合計してケア活動の全体的な集計点数(指標)を出すために使えます。ヤングケアラーたちが取りうる一番低い数値は0で、一番高い数値は36になります。たとえば、もし、彼らが18項目の一つひとつに「まったくしない」を選んだら、合計点は0になりますが、もし、それぞれの項目で「よくした」を選んだら、合計点は36になります。もちろん、ほとんどのヤングケアラーは、この両極の間の点数になります。平均的な点は14ぐらいです。

MAYA-YC18の得点の解釈

点数が高いほど、ケア活動のレベルが高いことを示しています。

0	記録されるケア活動はない
1-9	少ないケア活動量
10-13	一般的な量のケア活動
14-17	多いケア活動量
18以上	かなり多いケア活動量

出典:
 Joseph, Stephen, Fiona Becker and Saul Becker, 2012, *Manual for Measures of Caring Activities and Outcomes for Children and Young People (2nd Edition)*, London: Carers Trust.

ケアが自分にどう影響しているか

以下は、あなたのようなヤングケアラーが、誰かを世話することをどう感じるかについて言った事柄です。それぞれの内容を読んで、それがどれくらいあなたに当てはまるか、合うものに○をつけて下さい。正しい答えなどはありません。ケアによってあなたの生活がどうなっているかを知るためだけのものです。よろしくお祈りします。

PANOC-YC20	
まずこちらを記入して下さい	
名前のイニシャル	_____
生年月日	_____
今日の日付	_____
ヤングケアラー・サービスの名前	_____

PANOC-YC20の点数化

- 「まったく感じない」 = 0
- 「時々感じる」 = 1
- 「よく感じる」 = 2

出典：
Joseph, Stephen, Fiona Becker and Saul Becker, 2012, *Manual for Measures of Caring Activities and Outcomes for Children and Young People (2nd Edition)*, London: Carers Trust.

肯定的反応の点数を計算するには：

項目 1、2、3、4、7、8、15、18、19、20 の点数を足して下さい。

否定的反応の点数を計算するには：

項目 5、6、9、10、11、12、13、14、16、17 の点数を足して下さい。

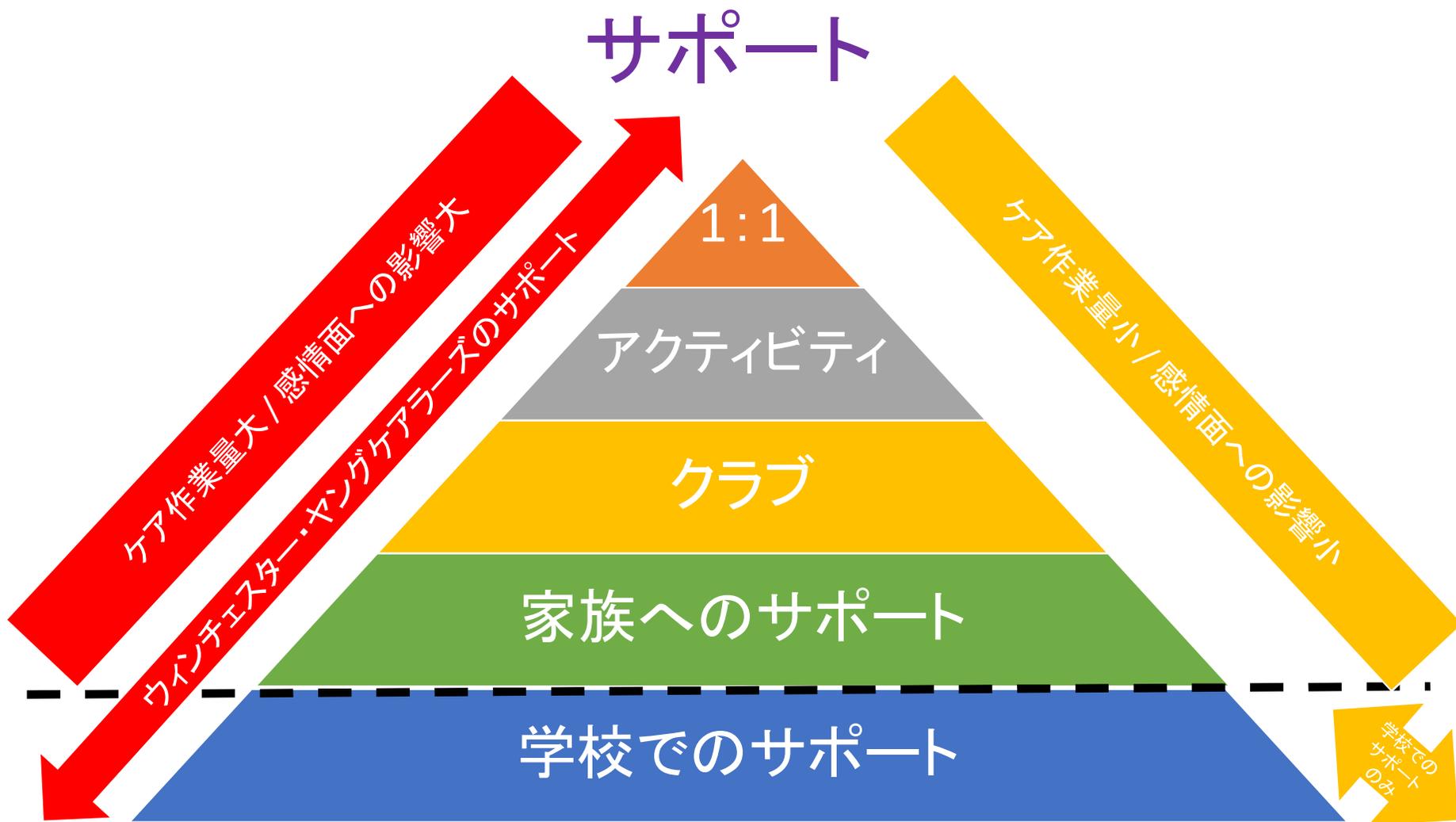
点数の読み方

統計的な分析は、この質問シートの肯定的尺度の点数が 12 点以下である時、否定的尺度の点数が 8 点以上である時は、心配な兆候があると示しています（表 1 を参照）。たとえばそれは、その子が精神的苦痛に悩んでいることを示しているかもしれません。そうした状況では、専門職の人達は、その子の感情を本人や家族と一緒に探り、適切に対応する上で、通常の業務慣例や手続きに従う必要があります。おそらく、適切な医療サービスや子ども福祉サービスとも連携していくことになるでしょう。

表 1 PANOC-YC20の点数の読み方

	点数	点数から読み取れること
肯定的側面	0	肯定的な影響はないとの報告——心配な兆候
	1-12	比較的わずかな肯定的影響——心配な兆候
	13-20	比較的多くの肯定的影響が報告された
否定的側面	0	否定的な影響はないとの報告
	1-8	比較的わずかな否定的影響
	9-20	比較的多くの否定的影響が報告された——心配な兆候

	全 感じない	く 時 感じる	々 よく感じる
1 ケアをすることで、良いことをしていると感じる			
2 ケアをすることで、その人を助けていると感じる			
3 ケアのために、家族の絆が強まったと感じる			
4 ケアをすることで、自分に自信を持つようになった			
5 ケアのせいで、嫌なことをしなくてはならないと感じる			
6 ケアのために、ストレスを感じる			
7 ケアをすることで、役立つことを学んでいると感じる			
8 ケアをすることで、両親が自分のことを誇りに思っていると感じる			
9 ケアのせいで、逃げ出したいと思う			
10 ケアのために、とても孤独だと感じる			
11 ケアを通して、自分には対処できないと思う			
12 ケアのせいで、自分のしなくてはならないことが常に頭にある			
13 ケアのために、耐えられないほど悲しいと感じる			
14 ケアのために、自分のことはあまり気にかけていない			
15 ケアをすることで、自分が好きになった			
16 ケアのせいで、人生は生きる価値がないように思う			
17 ケアのために、十分に睡眠をとれていない			
18 ケアをすることで、問題に前よりうまく対処できるようになったと感じる			
19 助けているのが気分が良い			
20 ケアをすることで、自分が役に立っていると感じる			



ウィンチェスター・ヤングケアラーズの作成したスライドを翻訳して紹介

ウィンチェスター・ヤングケアラーズの支援例



8～11歳の子対象のクラブ
毎週水曜 16:30-18:00

12～13歳の子対象のクラブ
隔週水曜 18:30-20:30

14～17歳の子対象のクラブ
隔週水曜 18:30-20:30

クラブ



目的

ヤングケアラーが、自分の考えていること、
気持ち、ニーズ、心配事を共有できる
安全な場所を提供すること

ヤングケアラーが持っているかもしれない心配事
を解決するためのサポートを提供すること

ガイドライン

- このグループで話されたことは、
ここだけの話にしておくこと
- 秘密を守ること。ただし、あなたや
他の人の安全が心配される時には、
あなたが安全でいられるよう、
その情報を他の人に伝えなくてはいけない
ことがあります。
- 自分や人のことを卑下しないこと。
- 発言しないでパスすることもできます。
- ガイドラインや約束を破ることが続いた時には、
あなたが次の活動に参加することは
認められないかもしれません。

ウィンチェスター・ヤングケアラーズの作成したスライドを翻訳して紹介

アクティビティ



遊園地に行く



ロンドンに行く



小学生のアスレチック合宿

親のためのコーヒー・モーニング



ファミリー・イベント



ヤングケアラーへの支援

- ・子どもであるヤングケアラーにとって、自分で行けるところに、信頼できる大人や同じような経験をしている同世代と出会える場所があることの意味は大きい。
- ・子どもだけを取り出すのではなく、家族全体を考えたアプローチ（Whole Family Approach）が大切
- ・日本でも、社会保障費の増大が社会問題となり、介護の担い手としてますます家族が期待される時代だからこそ、その「家族」のライフステージに目を向ける必要がある。